

令和5年度（2023年度）第2回北区まちづくり懇話会 会議録

【日 時】 令和5年（2023年）12月15日（金）午後2時～午後4時

【場 所】 北区役所2階第2・3・4会議室

【出席委員（敬称略、五十音順）】

浅井賢一、荒木善光、白石幸春、徳永親、戸野口庄子、東信義
平山愛、堀史、松尾美佳、丸山泰、宮村聡、山崎雄三 以上、12名

【傍 聴】 1名

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 説明事項および意見交換
 - (1) 北区まちづくり方針の策定
 - (2) 地域カルテの策定について
- 4 閉会

委員紹介

会長挨拶

本日の会議は来年度から始まる次の10年のまちづくりの方向性に向けた素案が事務局から示されますので、皆さんからたくさんの意見を出していただいてブラッシュアップを重ねることができればと思う。

「北区まちづくり方針の策定」について事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

資料①-1 北区まちづくり方針の策定

資料①-2

を説明

(丸山会長)

確認だが、今回の懇話会の意見を踏まえ、次回の懇話会で北区まちづくり方針の案を確定させるという認識でいいか。

(事務局)

次回第3回懇話会を2月に予定しているが、そこでお示しする予定。

ご意見があるかもしれないので、事前に委員各位にはお見せしてご意見をいただいた上で第3回懇話会でお示しできればと考えている。

(丸山会長)

北区まちづくり方針が確定するのは何月予定か。

(事務局)

今年度中と考えている。

(丸山会長)

熊本市全体の方針はもう出ているのか。

(事務局)

現在、来年4月から始まる次期第8次総合計画を審議中である。

(丸山会長)

熊本市全体の中の北区であるので熊本市全体の方針を示してもらわないと整理できないと思うが。

(事務局)

総合計画の素案という形で議会に提出しているものがあるので、ご提供できると考える。

(丸山会長)

本日は懇話会の皆さんで意見を出してもらってボトムアップでこういうことを考えていきましょうという方向でいいと思うが、一方で市全体との整合性を図ることも大事なので次回はその資料も提示していただきたい。

では、本日は各自治協やおでかけトークなどいろいろなところから吸い上げてきた住民の意見をベースとして次の10年の方針を策定していくのですが、資料を見ていただき「こういう抜けがあるのではないか」「こういうものはどうか」というご意見をお願いします。

(白石委員)

区役所業務と本庁等業務と分かれているが、今日私たちが検討するのは、区役所業務に書いてあるようなことを方針としてまとめるということか。

(事務局)

委員のおっしゃるとおりで、今回は北区役所業務に関することをベースに検討していただきたく思う。

(荒木副会長)

本庁等業務は省き、区役所業務を見て北区まちづくり方針の策定をしていくという認識でよいか。

(事務局)

北区まちづくりビジョンには北区役所業務以外のことを掲げていたため、反省点でもあるが、我々北区役所が主体的に取り組むことができないもどかしさがあった。よって区役所業務を中心に方針を策定しようと進めさせていただいている。

(丸山会長)

権限と予算がないから区役所業務内で方針を決めようという考えは分かるが、逆をいうと熊本市として、本庁等業務の中でやると決めているものがあるならば、まちづくり方針に組み込んでもいいではないかと考えることもできる。

(事務局)

総合計画には、素案の段階ではあるが区役所業務も具体化され盛り込まれているという前提がある。北区まちづくり方針としては二重で計上するのではなく、区を中心とした方向性を検討していきたい。

(荒木副会長)

ピラミッドで考えるならば、一番下に共通して本庁等業務があり、その上に区役所業務があるという意味でよいか。

(事務局)

ピラミッドの最上位には、総合計画が位置付けとしては存在している。
その下に区のまちづくりビジョンがある。それに連携して北区のまちづくりがある。本庁の主管課の出先として業務を行っているものもあれば、地域のまちづくりのように区役所が主体的に動く部分もあるので、上下関係というか並列の部分もあるかと考える。

(徳永委員)

この北区まちづくり方針というのは来年なのか3年先なのか5年先の話なのか。

(事務局)

スタートは来年度令和6年度。後ろの期間というのはむこう10年など中長期的なスパンでの方針策定を考えている。

(徳永委員)

テーマによっては3年で解決するとか10年かかるとか区別はないということでもいいか。色分けしないということでもいいか。

(事務局)

普遍的なまちづくりの方向性を策定していただきたと思う。

(丸山会長)

方針を策定し、そのあとに具体的な予算化し、3カ年5カ年計画として実施することか。

(事務局)

4月以降、この北区まちづくり方針ができあがったときに、その方針に基づく次年度の事業の組み立てをしていこうと想定していく予定。

(丸山会長)

ゴールを設定して、目標を達成したからこうだ、達成しなかったらこうだという判断ができる実行計画を立てなければ方針を立てても意味がないと思う。
熊本市の方針が見えてないのになぜ北区の方針が立てられるのかという話に戻るが。

(事務局)

会長がおっしゃった目標を掲げその成果を検証できるような仕組みについては、本庁業務については総合計画の中では検証していく動きがある。
北区まちづくりの中で、検証できるような組み立てを考えていきたい。

(丸山会長)

北区役所のまちづくりになっている。北区全体のまちづくり方針を作りたいと考えているが。

(事務局部長)

本庁が行う業務と行政区である北区が行う業務と2つがある。それぞれの方針を定めてという思いがあるが、実際は本庁業務と区役所業務が明確に分かれるわけではない。密接不可分なので、広く北区の住民に関わる業務として、今後総合計画もお示しして、広くご意見賜っていいかと考える。

(丸山会長)

ということなので、我々としては区役所業務と本庁等業務を区別せず意見を出していいかと思う。

(白石委員)

自主自立のまちづくり方針を作るための案ということか。

(事務局)

基本的な考え方は変わらないが、より地域別のまちづくりをまちづくりセンター、地域担当職員を中心に強めていく必要があると考える。

(丸山会長)

事務局から方針の軸としてまちづくり、健康・子育て、防災・防犯を立ててもらっているが、この軸を見て、「足りない」などのご意見はないか。

(荒木副会長)

1つ目のまちづくりはどのようなものをイメージしているか教えていただきたい。2つ目3つ目の健康・子育て、防災・防犯は具体的だが、まちづくりのイメージができないので。

(事務局)

副会長のおっしゃるように、健康・子育て、防災・防犯というキーワードを抽出した後に残りを列挙すると、いろいろな項目が出てきたというところもあって、「まちづくり」というキーワードが包含できると思い、案で示させていただいた。

(徳永委員)

個人的に去年は団地のコミュニティ活性化について、今年は北区全体のまちづくりについて昨年、今年とコミュニティ支援補助金40万をもらい取り組んでいる。根底のテーマとして地域の資源である定年退職者を活用したい、がんばってもらいたいと思っている。

コミュニティ支援補助金400万を使わせてもらっている各団体が北区の課題についてやってもらえれば劇的に変わると思う。こういう補助金があればやっ

てみたいなという人の発掘できれば課題解決になると思う。

(宮村委員)

現在案には健康・子育てと二つの言葉が入っているが、達成すべきことは異なると思うので、一つの言葉に対して一つのメッセージの方が目標も達成しやすいと思う。

(堀委員)

私は高平台校区自治協議会で役員をしており、避難所運営委員会を立ち上げているが、自分の街は自分で守って自分で作るという意識が薄れているように感じる。また、まちづくりに関しては「今あるものを生かす」という姿勢を大事にしていきたい。

(山崎委員)

他委員の方の意見と逆行していくところもあるが、子育てはまちづくりと密接に関連している。子育て中のメンタルヘルス等関与している。項目によって分けられるところと密接に絡まっているところとどう整理するのか難しいところだと思う。

(東委員)

具体論を申し上げると、北区のふるさと音頭を作ってみたらどうかと思う。自然と交流も深まり意識も上がってくるのではないか。実際に武蔵音頭というものがあり、夏祭りだけでなく学校の運動会で父兄と一緒に踊ったりしている。地区の良さを再認識するなど良いが、みんなで交流を深め地域のPRともなるので、北区の歌を作ってみてはどうか。

(丸山会長)

実行計画でのご意見だと思うので、具体的なアイデアの一つとしてあげていただければと思う。

いま皆さんからいただいたご意見を案の提示として、2月の会議の前に皆さんに見ていただく。2月の会議では、その案と熊本市全体の考え方を出示していただいてそれを見ながら皆さんからさらにご意見いただければと思う。

(白石委員)

皆さんの話を聞きながら、10年を目指した素案の目標を作成していかなければならないということと、北区に自主自立性があるのだということが分かった。また、北区の住民が求めている、こういうことを解決してほしいと求めるものに柱がでてくると思う。そういった話をこれからもしていかなければならないと思う。

それともう一つ。熊本市健康づくり推進課と東邦大学が一緒に作った「熊本市健康まちづくり活性化に向けたアンケート調査報告書」こういう資料も北区のまちづくりに反映してもらえたらなと思う。

(事務局)

1点目の地域の皆さんのご意見を聞きながら方針を考えていくという点は非常に重要だと考える。資料①-1 左に挙げている北区まちづくりビジョン検証において各自治協の方々を計17回にわたりヒアリングさせていただいて意見を抽出し、前回の懇話会にて整理させていただいた。真ん中北区長おでかけトークにおいては区長自ら、地域からのご意見課題をお聞きするという取り組みについても引き続き続けていきたいと思う。

2点目の健康まちづくり活性化に向けたアンケート調査について、このあと審議していただく校区ごとに作成している健康カルテに基づき個別の事業を行っていく。今後も地域の特性を踏まえた健康まちづくりを柱の一つとして事業を取り組んでいくところ。

(事務局部長)

いろいろな計画がある中で住民の方からすると、それぞれがどう関係するのかわかると思われるかもしれないが、庁内でも矛盾がないよう住民が望んでいることをとらえ練り上げていく。

方針の段階では抽象的にならざるを得ない部分があるが、予算化する際には何をどこにいくら投入するなど個別具現化させていきたいと思う。

(丸山会長)

それでは次に移ります。

「地域カルテの策定」について事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

資料②-1 地域カルテの策定について

資料②-2 熊本市 校区健康カルテ

資料②-3 (参考資料)北区 校区別高齢化率

資料②-4 (参考資料)他団体等の校区カルテ項目一覧
を説明

(丸山会長)

確認だが、示していただいた校区健康カルテは北区21校区分あるということか。

(事務局)

あります。

(丸山会長)

おそらく、私もだが、皆さんこのようなものがあるとは知らなかったと思う。データはあったけれどもうまく活用ができていない現実がある。そこで、資料②-3のように北区だけでも高齢化率について、グラフにしてみると低いところは20%だが、多いところは40%をこえ、同じ区であっても格差があり状況は異な

ることがわかる。そこで校区ごとにカルテを作っていきたいと考えている。健康カルテは身体健康に近い情報なので、地域カルテでは、まちづくり関係のデータがあればということで、資料②-4 に示していただいている。データがあるなしもあるので、とりあえずこのようなデータがあればいいよねとご意見いただきたい。

カルテ作りは来年度取り掛かっていただくので、この場でその項目について貴重なご意見いただければと思う。

(白石委員)

全市的に校区カルテを作るという方針なのか。

(事務局)

区ごとの判断。

(徳永委員)

南区の校区カルテには出生率等は載ってないが、データはあるのか。

(事務局)

データはある。南区では、校区カルテを作成しているときに健康カルテから抜粋している。

(宮村委員)

盛り込む項目について、現状があってどうならないといけないからどのような項目が必要となるかが分かる。先ほどのまちづくり方針とも連動してくると思う。

(丸山会長)

今日こういうデータがあったらいいよねというご意見があったのを受けて事務局としては実際そのデータはあるのかないのかを精査していただいて次回の懇話会でご報告いただくという流れ。

(徳永委員)

今回 TSMC が入って希望とすれば事業所・従業員数とか外国人国籍別人口の推移を見たいという思いはある。生活保護世帯数についても、北区にはこども食堂が 13 個ほどあったと思うが、他の区と比べて北区が対応できているのかなどの検討材料にはなると思う。

(荒木副会長)

項目を考えていくうえで、既存のデータではなく新しく項目に入れたいという考えはどうすればいいか。

(事務局)

市役所にないようなデータに関しては関係各所との協議が必要になると思う。

(浅井委員)

資料②-2 の右下、第一次産業について、ほとんどが農業をしているパーセンテージかと思う。息子が後継者クラブ会長している。後継者の人数がものすごく減っている。地域に農業をやっている若者はいるが、コロナの影響もあって懇親会ができない、顔合わせができないことで離れていってしまった。行政で後継者の人数把握はできているのかと思った。もしできているのであれば、行政から後継者クラブの紹介をしてほしい。

(農業振興課 小林課長)

認定農業者の協議会がありここには若い方からベテランまで 200 名近く入っていただいている。新規就農者の集いが熊本市全域で行われており、お声かけしている現状である。認定農業者のライングループもあり、こちらでお知らせ等は可能かと考える。

(丸山会長)

北区の中で第 1 次産業が重要ということであれば、認定農業者や新規就農者の数が地域カルテに必要なかもしれない。まちづくりの方針の中で農業就労者のネットワークを構築するというまちづくりのテーマとして意見として受け止めていただければと思う。

(徳永委員)

ごみの行方について興味がある。生ごみが飼料や肥料になる、そういう取り組みを将来的に行わないともたないと思う。生ごみを燃やすために大きなエネルギーを投下するのは難しいのではないか。北区には廃棄物業者がたくさんいらっしゃるので、先進事例を作ることができれば。それを引き出すためのデータが何かあればと思う。現在市役所としては生ごみに対して何か取組はあるのか。

(事務局)

家庭で生ごみを処理する処理機の助成を取り組んでいる。

(徳永委員)

畜産業者が苦勞している高騰した飼料について、生ごみから飼料ができると実証されているので、取り組みがあればと思って伺った。

(白石委員)

弓削校区に住んでいるが、健康カルテを活用している方だと思う。今後作成される校区カルテというのは貴重な情報源だと思っているが、健康カルテを見ると暗い気持ちになる。できれば明るい情報を提供してもらえればと思うのだが。

(丸山会長)

TSMC 関連で人口増加などの情報ができれば明るいデータになるかと思うが、現実的には厳しいデータの方が多くはなると思う。バランスをとっていただきたい。これからデータを集めることも重要だが、いまある健康カルテの中でも資料②-3 のような校區別に差があるものを示していただくと、どう情報発信していくかという材料になると思う。また、次回の会議では今日皆さんからいただいた意見に対して北区にデータがあるのかないか示していただければいいのではないかと思う。

(堀委員)

南区の校区カルテを見た。校区の文化・行事等の記載があったが、すべて文字の羅列だったので、写真があればいいのにと考えた。

(荒木副会長)

健康カルテでいうと子育てサークルや老人クラブ等、こういった内容なのかという概要紹介があれば、より地域ごとの深みが出てくると思った。

(戸野口委員)

総務企画課の皆さま、資料作成も大変だったと思う。ありがたく思う。こどもまつりでもほとんどの方が日曜にもかかわらず出勤されていた。ありがとうございました、おつかれさまでした。

(丸山会長)

ご意見ありがとうございました。それでは、最後になりますが、その他事務局から何かありますか。

(事務局)

次回開催の時期は、2月頃と考えております。
日程につきましては、会長・副会長と調整の上、別途通知にてご連絡いたします。

(丸山会長)

本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。進行を事務局へお返しします。

(進行)

会長におかれましては、議事の進行大変ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご審議いただきまして誠にありがとうございました。

これをもちまして、「令和5年度 第2回北区まちづくり懇話会」を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。